



江戸から続く幽玄の調べ

悠久の時を越えて響く薩摩琵琶
～薩摩琵琶の調べと薩摩ディナーの夕べ～



2009年12月14日(月)、港区芝のセレスティンホテル1Fレストラン「グラン・クロス」にて、江戸東京再発見コンソーシアム主催の伝統文化工芸講座「五感で学ぶ江戸の粋」江戸から続く幽玄の調べ」を開催し、38名の方々にご参加頂きました。今回は全国で唯一の琵琶専門店「石田琵琶店」の五代目であり琵琶演奏者の石田克佳さんをお招きしました。薩摩琵琶の演奏が始まると、会場は一瞬にして厳粛な雰囲気になりました。



セレスティンホテルは、かつての薩摩藩江戸上屋敷藩邸のあった場所に位置している為、レストラン内には薩摩の面影を色濃く残したデザインが施され、その土地の歴史を大切にしたい造りになっています。このような場所での薩摩琵琶の演奏は奥深いものであり、琵琶の持つ独特な音色と語りで、かつて藩邸に集った武士たちの魂を呼び起こしてしまうのではないかと察してしまう程、聴く者の心を揺さぶる力のこもった演奏でした。

琵琶の音色に酔った後は、セレスティンホテル心づくしの薩摩ディナー。薩摩軍鶏を使った料理などで、素敵な夜をさらに豪華に演出。

貴重な琵琶演奏をして頂いた石田克佳さん、こだわりの食材でもてなして下さった若林総支配人を



はじめとするセレスティンホテルスタッフの皆さん、どうもありがとうございました！

